

展示会スケジュール

敦賀市立博物館

1階

近代の敦賀

— 明治・大正・昭和 —

1889(明治22)年、文明開化の代名詞ともいえる鉄道がいち早く敷設され、敦賀は神戸・東京と繋がる日本海側唯一の町となりました。また、1899(明治32)年には開港場の指定を受け、外国との貿易も始まりました。1902(明治35)年には敦賀からロシアのウラジオストクを結ぶ航路の直行便が開設され、敦賀は「東洋の波止場」とも呼ばれ、港町として発展しました。

太平洋戦争末期の1945年7月12日、北陸初の空襲によって、敦賀のまちや人々は大きな被害を受けましたが、敦賀の人々はまちを復興させるべく立ち上がります。そうして現代の敦賀もまた、港や鉄道と共に発展し続けているのです。

1階では近代～現代の敦賀のまちの発展についてご紹介しています。



2階

古代・中世・近世の敦賀

海岸線が深く入り込み、波穏やかな敦賀湾は、天然の良港として多くの船の休憩所となり、また、敦賀の南側に位置する琵琶湖の湖上交通も利用して、関西地方や東海地方もその商圏としてきました。この敦賀の歴史は、「みなと」とともに、また「みなと」を中心として展開しており、これに沿って古代から中世、近世末頃までの時代ごとのトピックや資料を紹介しています。



※下記の期間は特別展・企画展示を行っているため平常展の一部が観覧できません。

7月16日～8月24日、10月17日～11月30日

詳細な展示予定は裏面をご覧ください。

ご利用案内

■開館時間

9:00～17:00 (受付は16:30まで)

■入館料

一般 300円 (団体250円) 高校生以下無料

※隣接するみなとつるが山車会館との共通券で500円

■レファレンスルーム

地下1階にございます。ご利用の際は受付でお申し出ください。

■地下室・3階講堂の貸出

コンサート等で利用できる講堂とワークショップ等で利用できる地下室の貸館を行っています。

※料金や利用手続きについてはホームページをご覧くださいか、直接お問い合わせください。

	ご利用料金	
	1時間あたり	1日
講堂	500円	3,000円
地下室	300円	1,500円

アクセス



《電車(最寄「敦賀駅」から)》

- ・徒歩で25分
- ・コミュニティバスで約10分
「山車会館」、「博物館通り」下車徒歩1分
「神楽町」下車徒歩10分
- ・レンタサイクルで約15分

《車》

- ・敦賀インターチェンジから約7分

敦賀市立博物館

TSURUGA MUNICIPAL MUSEUM

〒914-0062 福井県敦賀市相生町7番8号
TEL: 0770-25-7033 / FAX: 0770-47-6131
<https://tsuruga-municipal-museum.jp/>



博物館HP



TSURUGA MUNICIPAL MUSEUM

平常展 近代の敦賀 — 明治・大正・昭和・そして現代へ —

ミニコーナー 戦後80年記念展(仮称) 戦後80年を機に戦災資料等を7月1日(火)～8月24日(日) 展示します。

平常展 古代～近世の敦賀

コレクション展

絵の中の季節 3月11日(火)～4月21日(月)

当館の日本絵画コレクションの中から、四季を感じられる美しい作品を展示します。

企画展

ジャクエツコレクション展 4月26日(土)～5月11日(日)



東山魁夷「秋映」

コレクション展

没後130年 蔵出し! 幸野樺嶺 5月16日(金)～7月13日(日)

今年は近代京都画壇の重要人物・幸野樺嶺の没後130年の年です。これを記念し、当館の樺嶺作品を全て公開します。 ※会期中展示替えあり



幸野樺嶺「溪頭樓鷺図」

夏季企画展

大谷吉継 生誕460周年記念展 ～拝啓、四百六十の君へ～ 7月16日(水)～8月24日(日)

敦賀城主大谷吉継生誕460周年を記念して、吉継発給文書や、関連資料などを紹介します。



大谷吉継(菊池容齋「関ヶ原合戦図屏風」)

平常展

古代～近世の敦賀

ミニコーナー

『おくのほそ道』と敦賀 8月27日(水)～10月13日(月・祝)

芭蕉所用と伝わる竹杖や、蕉翁宿関係資料を紹介します。

小テーマ展

天狗党資料展 8月27日(水)～10月13日(月・祝)

昨年度松島町にガイダンス施設が完成した水戸天狗党についてのテーマ展示をします。

特別展

つるがのみほとけ ～海辺の祈り・山里の祈り～ 10月17日(金)～11月30日(日)

戦乱の被害をのがれて地域でひっそりと守られてきた仏像仏画をはじめ、重要文化財の西福寺一切経や氣比神宮寺など、みなと敦賀の祈りの歴史を紹介します。



不動明王立像(関区)

平常展 古代～近世の敦賀

コレクション展

収蔵資料公開展 ～敦賀ゆかりの絵師内海三代～ 12月4日(木)～12月26日(金)

近年購入または寄贈を受けた絵画資料を中心に、敦賀ゆかりの絵師内海三代(元孝・元紀・吉堂)についてご紹介します。



原在中「風雪三顧図」

コレクション展

お正月 一 敦博の馬一展 12月27日(土)～2月1日(日)

2026年の干支は午(うま)です。当館の絵画コレクションの中から馬に関連する作品をセレクトし、馬尽くしのお正月展を開催します。

コレクション展

敦博刀剣資料公開展 2月3日(火)～3月8日(日)

毎年恒例、敦賀市立博物館の刀剣コレクション展です。



太刀 銘「一越前敦賀住盛重作」

Calendar grid for 2025 (April to March) and 2026 (January to March). Days are color-coded: white for open days, grey for closed days, and orange for temporary closed days.

□…開館日 □…休館日 □…臨時休館日

▷ 敦博ゼミ① 「大谷吉継概論 ～吉継とは何者か～」(歴史講座) 4月～6月頃予定

▷ 連携イベント 気比史学会主催「市民歴史講座」

戦後80年企画「敦賀空襲を語り、伝える」(7月開催予定)等、連携していきます。

大谷吉継サミット2025 8月10日(日)

【会場】 敦賀市民文化センター 大ホール

大谷吉継の研究者を招いて、吉継研究の現状や課題、今後の展望などを語ります。

【登壇者】 元奈良大学教授 外岡慎一郎氏 大手前大学講師 石畑匡基氏 敦賀市立博物館学芸員 北村太智

▷ 敦博ゼミ② 「天狗党関連施設見学」(歴史ウォーキング) 9月～10月頃予定

▷ 敦博ゼミ③ 「若越八十八カ所巡り」(歴史ウォーキング) 10月～11月頃予定

▷ 敦博ゼミ④ 「くずし字入門」(古文書講座) 10月～12月頃予定(全3回)

※予告なく、展示内容や展示期間、開館日等を変更する場合があります。